

おお大勝利

令和2年度 山東サッカー一部報第6号 (8月21日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

夏の活動のまとめ

今年は、新型コロナウイルス感染拡大を受けた休校期間があったので、だいたいどの学校も夏休みを短くしました。本校も8月4日(火)まで授業(講習)を行い、夏休みは8月5日(水)から。そんでもって、夏休み明けの登校は8月18日(火)から。2週間もない非常に短い夏休み。サマーソングの王様のバンドに「あ～夏休み」という歌がありますが¹、「あ～夏休み、もう終わっちゃった～」とか「あ～夏休み、そもそもあったのかな」なんて感想を抱いてしまう。

さて、例年夏には恒例の県外遠征(近年ずっと苗場遠征、昨年から秋田遠征)をし、月山合宿²をしてきた。そして、ここ数年は月山合宿の最終日に山東サッカーフェスティバル(OB戦)が実施されてきた。**山東サッカーフェスティバルは8月第1土曜日がルール**なので、月山合宿を木金土の日程で実施して来たことになる。ただし、今年は夏休みが縮小された関係で8月第1土曜日に合わせた合宿の実施ができない。東北のいろいろな高校と対戦し、秋以降の大会に備える県外遠征は絶対に行きたいし³、私自身の出張の予定等があり合宿と遠征の両方の日程が取れなさそう。ということで、今年は月山合宿はせず、秋田遠征だけ企画しておりました。

ということで、**8月1日(土)山東サッカーフェスティバル**はまだ夏休み前の企画でしたが、その報告からしましょう。今年、コロナの影響で参加者が少なくなるのでは、と危惧

¹ 保護者は全員ご存知かと思いますが、高校生は分からない者もいるでしょうね。

² 月山合宿の前は、長年蔵王で合宿をしてきました。それが10年以上前に、蔵王の定宿が火事になり、夏合宿の会場が月山に移ったのでした。というか、それより以前は、合宿は学校で行われていました。**山東第33回卒の代が1年生の時、学校での夏合宿で不幸にも1年生の丸子さんが熱中症で倒れ亡くなるという痛ましい事故が起きてしまいました。**その合宿を機に、少しでも涼しいところで合宿を行わせようとの後援会のはからいで、蔵王合宿が始まったと言われています。よって35回卒の前顧問の晃先生も43回卒の私も蔵王合宿で鍛えられたのです。**蔵王での合宿は30年弱続いたことになりました。**ちなみに、**サッカー部には部所有のテントがありますが、それは丸子さんのご遺族から寄贈して頂いたものです。**

³ ちなみに、新潟県の苗場への遠征は、10年以上続けてきました。グラウンドと宿舎の間の山道のランニング、関東のチームとの試合とその合間のフィジカルトレーニングは非常に効果が高く、OBも「苗場は辛かった・・・けど、かなりトレーニングになった」という感想を持っている(はず)。ただし、集まるのが新潟県や埼玉県チームが多く、正直「山東の低いレベルに合っていない」。東北の諸チームとの対戦では物足りない状態なら東北を出る意味ありますが、山東は東北の皆さんに揉まれながらトレーニングしていくレベル。去年は秋田の方から誘われて、苗場に行かず秋田遠征を初めて行いましたが、参加してみても本当に良かった、「もっと地元(東北)を大切にしなきゃ」と強く思いました。ので、今年も秋田遠征を企画しました。

しておりました。「今年本当にやるんですか」といった問い合わせもありました。しかし、主催者である山東サッカー部後援会の皆さんが中止を検討した気配はなし。「やりたい人が集まってやる」のが基本なので、心配な方は集まらなきゃいい、というスタンスなのでしょう。ただ、「集まりたいのだが、関東在住で今年は遠慮します」という方々はいらっしゃったことでしょう。私の代（山東第43回卒）のマネージャーも参加したかったけど自重したようだし、おそらく昨年参加して下さった**キンタツさん**（36回卒）も参加を見合わせたのではないかと。ともかく、今年、参加者が少なくなることが懸念されました。

しかし、蓋を開けると・・・**35回卒の齋藤先輩**をはじめとして⁴、私の代（42回卒～45回卒）も多数、去年コーチして下さり今年庄内総合の顧問をしている**小池先生**の代（57回卒～59回卒）も多数、**オオツキ**や**ダイム**、**タダケン**らの20代のOB（62回卒）を挟んで、**ユート・ミツイ**（67回卒）、**ベジ・カンタ**（68回卒）、**フトシ・タカヒラ・ババ**（69回卒）、**アヤ**（70回卒）といった大学生も多数集まってくれた。去年と比べ、これらの大学生の出席者が多かったので、**実際プレーしたOBは30人以上**。

それと、忘れてはならない先輩が今年プレーされました。1年ヒロトの父の**佐藤さん**（39回卒）。息子との親子対決も見られました！ あ、この選手も書いておきましょう。私の同期で整形外科医そして山大医学部サッカー部監督の**サタケ**の息子（中三）も、親子共演でプレーしました。もちろん、山東を志望しているとのこと。**待ってま〜す**。実は、山東志望でも何でもないので、小三と年長の私の子供も連れてきて、せっかくだから「出るか」と聞くと「出たい」とのこと。サッカークラブに入っているわけではなく、逆に「スポ少に入れば」と親が言っても全然首を縦に振らない長男⁵ですが、この日はやる気満々。つられて次男も出る気である。長男と同じ小三で68回卒のフトシの弟⁶も誘ってまぜてもらい、何試合か出場しました。もちろん、大人の皆様の配慮のもと。皆様お付き合い頂き、ありがとうございました。

ともかく、OBが多くて、3年対2年とか、2年対1年とか、現役生同士の対決がなかなかできない。逆に、40代チーム対20代・30代チームなどの、OB対決が多い。いや～、**現役がなかなかプレーできないのは、うれしい悲鳴**です。例年現役生は、合宿明けで疲労がピークで、「できるならプレーしたくない」のが本音ながら、3年対1・2年などの恒例の対決のために疲労した体に鞭を打ってプレーしていましたが、今年はピンピンしている。しかし、出番は回ってこない、といった状況。

さて、そんな元気なOBですが、昨年につき、今年も**齋藤先輩の得点**を紹介できることをうれしく思う。誰のパスだったか忘れましたが、**浮き球の縦パスに反応してGKの頭越しのルーフシュートでネットを揺らす**。「大人の得点」でした、ナイスプレー！ 来年の参加もお待ちしています。

⁴ 同じ36回卒のユートの父鈴木さんも顔を出されましたが、今年はプレーはされませんでした。

⁵ 去年ラグビーワールドカップを観て、ラグビー日本代表に入ることを夢見ており、現在山形ラグビークラブに入って、日曜日だけラグビーしています（次男も）。その活動を私はかなり応援してますし、私もラグビー好きを自任しており、長男と結構ラグビーの自主練もしている。ただ、活動が日曜だけだし、サッカー経験はラグビーに役立つはず（ラグビー日本代表にはサッカー経験者が多い）。そんな思いから、「スポ少でサッカーもすれば」と、けしかけてはいます。将来サッカーを専門にしてほしいわけではありません。

⁶ トルコ系でドイツ代表としても活躍した現役有名選手と同じ名前。

その日、私は主にレフリーをしてましたが、選手としてプレーもしました。去年は動けない中でも現役選手に対して「股抜き」を成功させ、留飲を下げたのですが、今年は2度狙った股抜きが失敗し、しかも股抜きを狙ったことすら周りがわからない恥ずかしいプレーに終わり、正直不甲斐なかったです。ただ、来年こそは・・・という悔しい思いはそんなに湧かない。もう諦めてます（キッパリ）！

そして、プレーの後は OBOG と現役とで缶を片手に中庭に集う。今年は、長年親しまれてきた「佐門のもつ煮」がなくなり、代わりに「シーロムの肉団子スープ」となる。佐門さんから、やんわり断られたそうです。残念ではありましたが、私と山東同期の店主（野球部 OB 現在1年生生徒保護者）が経営している**七日町長源寺通のタイ料理シーロム**さんから、メチャクチャおいしい肉団子スープを届けてもらうこととなった⁷。これで新たな伝統が始まったことでしょう。そこで、**岸会長**らの激励の言葉を受け、受験に向かう3年生の誓いの言葉、選手権に向かう2年生主将の抱負が披露される。私も、昨年同様、**山東サッカー部 OB は永遠のサッカー小僧であること、また、山東サッカー部は築立つ場であり遠ってくる場でもあること**のというメッセージを述べさせてもらいました。後援会の皆様、本当にありがとうございました。

その後、数試合の練習試合を挟み、8月10日からは秋田遠征・・・になるはずだった。

しかし、8月に秋田で発生した社会人バスケットボールチームのクラスターにより秋田の高校生への感染が疑われる事態となり（結局高校生は陰性）、秋田県教育委員会は8月7日付で、「県内高校生の県外遠征禁止、県外高校生の県内遠征禁止」を通達。それにより、秋田のフェスティバル（2020 ペナルティカップ秋田大会）は直前に中止となってしまう。えええ～！ 山東では秋田でクラスターが発生してもなお、管理職に了解を取り、秋田遠征を敢行するつもりでいたのに・・・。しかし、秋田遠征が中止になり、「何にもない夏」になるのは、避けたい、もったいない。こんな思いから、**8月7日に急遽方々に手を回し、恒例の月山合宿を実施することとした**。忘れないうちに述べておきますが、急なお願いを快く引き受けて下さった**月山志津温泉の旅館えびすやさん、本当にお世話になりました。ありがとうございました**。

さて、こんないきさつで急遽8月10日～12日の日程で月山合宿をすることとなった。急な日程変更にもかかわらず、保護者に皆様にはご理解を頂き、山東一月山間の往復の移動に際して保護者会から荷物運搬用の自家用車を3台出してもらう。また、保護者会全体からも個別にも差し入れを頂戴致しました。**改めて、山東サッカー部保護者の皆様の支援の厚さを感じました。本当にありがとうございました**。

秋田遠征には、**高橋コーチ(46回卒)、OB フトシ(69回卒 東北大医学部医学科1年)、OG アヤ(70回卒 日本歯大生命歯学部1年)**が帯同してくれる予定でしたので、月山合宿になってもそのまま帯同をお願いした。私、「乗り掛かった舟」(フトシの発言)で月山合宿への参加を快諾してくれたフトシに、「当然月山登るんだよな？」と圧をかけていた。**112号線から姥沢駐車場までの約10kmを走破する「月山登山」**は一年を通して選手たちの話題となっている。それくらい重要なイベント。今年は、最終日に山東サッカーフェスティバル

⁷ そこら辺の段取りは、すべて、**山東サッカー部後援会事務局長代理のタケシ** (44回卒 司法書士)が行ってくれました。お疲れ様！

のある日程ではなく最終日に余裕があるので、2日目に実施ではなく、3日目に実施の計画を立てた。

初日は112号線沿いの弓張平の登り口で宿舎のバスを降り、そこから弓張平公園まで3キロの登り道をまずランニング。そして恒例の30分のメディシンボールリレー（ラン）と、坂道ダッシュ&レンジで、初日午前の部終了。午後は、天然芝のグラウンドを借りることができたので、山東の選手に足りない部分（コンタクトスキル、スクリーン、スクリーンを入れたパス&コントロール）を徹底的に鍛えることができた。二日目は朝練して、休んで、夕方練。夕方連には、フトシと同期の、**タカヒラ（千葉大理学部2年）、ババ（東北大工学部2年）、そしてヤマモト（自治医科大1年）**が参加してくれた。苔の生えたあまりコンディションの良くない会場ながら、OBの熱意に負けじと現役の選手も元気にプレー。というか、以前のように、朝練・午前練・午後連の3部練習ではないためか、選手はまだまだ元気。特に**今年の1年生は辛いトレーニングの中でも明るい選手が多い**。「『バカになれる』性格って、以前は重視していたが、最近そういうこと言わなくなったな～、でも今年の1年生には強かった時代の『バカさ』があるな～」などと感心しました。

そして三日目、朝方にかけて強い雨が降ったため、朝練中止。これで午前の「月山登山」は良いコンディションで臨めるだろう。**2日目に参加したOB3名は「明日(の月山登山)も参加するんだろうな」という顧問・コーチの脅しに負けて、3日目も来てくれた**。これでフトシと合わせ、OB4名が登山に加わる。天気は悪くないが、朝方降った雨でやや気温上昇が抑えられている印象あり。ますます好条件。9:50に112号線沿いをスタート。**1年ランパードことシンタロウ**は故障がちのため無理しない走りだが、同じペースを保っていてなかなか良い走り。彼と同じ**附中出身のミスキ**は合宿前のフィジカルトレーニングで動けなくなったことがあった。そして、この日も最後方でかなり遅れている。完走できるか。**1年カマーチョコことシカマ**はランパードと競り合うレベル。**シュンスケ**にも言いましたが「短距離も遅いのには長距離も遅くてどうするんだ！」と顧問から檄が飛ぶ。先頭集団は、**陸上競技部からも熱い勧誘を受けた1年チョコことコーセー**が引っ張る。しかし、チョコは最近足が故障気味（シンスプリント）で、やはり中盤では**2年コーセー**が先頭を走る。こう書いてて気づきましたが、今年の月山はコーセー対決だったんですね。**結局チョコが最後抜き、コーセーが2位**。チョコは65分は切りましたが60分は切れなかった。故障がなければ60分切れたのではないか。最近60分切る選手が出なくなったので、60分切ることが偉業のように受け止められているが、HPで2011年の月山登山を見てもらえばわかるが、その年は3人が60分切っている。1位は58分ちょっと。**強かった時代（この代はそれほどじゃなかったけど）は、何につけても「やるからには負けね～」と対抗心を燃やしたものです。そういう「バカ」が揃っているからこそ、強かった**。最近では、勝つこと、記録を出すこと、自分を向上させることよりも、疲れないこと、今までの自分を守ることを重視する選手が多くなってきているように感じる。「今のままのあなたでいい」みたいなヌルい言葉を真に受けているのでしょうか。そんなヌルい選手たちが厳しい勝負の世界に身を置けるわけがない！ とにかく、**ミスキ含め、全員が完走。もちろんOBも完走。ババさん**に至っては高校生の頃よりも良いタイムで走り切った。「高校生のタイムが遅すぎたのではないか」と言うなかれ。**成長していること（昨日の自分を否定して新しい自分になっていること）が素晴らしい**。

結局65分を切ったのが、チョコ、コーセー、2年主将テグチッチことテグチとオニコ

シの4名。その4名には一応「勇者」の称号を贈ろう！！最後に完走した全員で記念撮影して下山。その後昼食を取り、月山を後にしました。

その月山合宿で気づいたこと。わかっていたことですが、**食事の絶対量が少ない**。現在の選手は一部の選手を除き、筋肉量が少なく体重が軽く、決してアスリートとは呼べない体格の選手がほとんどなので、食事量が少ないことは予想できましたが、「やはり」。**これまでの食事量で現在の体格しか形成できなかったのだから、当たり前負けない、ケガしない強い体を作ろうと思ったら、まず食事から変えていかなければならない**。こう強調しておきましょう。「今のままのあなたではいけない！」。また、おそらく中辛のカレーに対して、「辛くて食べられない」などと言っている高校生もいて、閉口させられた。弟妹いて、甘口カレー一択のご家庭もあろうかと思いますが、**今後中辛くらいは食べることができないと、本人が不利益を被る**。私はヒロト父と同じ年の四つ上の兄がいましたが⁸、兄の影響で早くから中辛を食べる環境にありました。覚えてませんが、中辛に切り替わった当初（おそらく小学校低学年頃）は辛かったのですが、そのおかげで、その後カレーが辛くて食べられなかったなどの経験はありませんでした。保護者の皆様、弟妹のためにもなりますから、**甘口カレーは早く卒業させてください**。

恒例ながら突然決定した月山合宿でしたが、保護者の皆様のご理解とご支援、帯同してくれた高橋コーチ、OB フトシ、OG アヤのご尽力、練習参加してくれたババ、タカヒラ、ヤマモトのOB、そして旅館えびすやさんのおかげで、とても良い夏のトレーニングとなりました。ありがとうございました。それともう一方、**後援会の後藤報道局長**は月山登山の取材に来て下さいました。いつも思うのですが、**後藤さんがいる環境（HPですぐ写真等検索できる環境）でサッカーができるって、とっても幸せなこと**です。あとあとまで、「あの時の試合でさ〜」と言い合いながら、昔の写真を眺めることができる。ありがとうございました。

さて、こんな夏の活動でしたが、一つ例年と比べ減ったイベントがあります。県外遠征ではなくて。それが、**宮城県牡鹿半島への復興支援奉仕活動**。2012年から「国境なき奉仕団」チーム山形の**遠藤さん（遠藤物産）、岡崎さん（タカミヤグループ）**にお世話になりながら、8年連続で続けてきた。今年も、8月9日（日）を希望日に、活動をお願いしておりましたが、コロナ感染の危険のある中での奉仕活動受け入れは牡鹿半島の方々にとって心配のようでしたので、無理強いせず、今年は遠慮いたしました。できれば来年は再開したいと思います。

最後に、連絡です。

昨年くらいから、高橋コーチとしばしば練習に参加して下さい、今年は山形城北戦などベンチ入りもしてくれた**佐藤コーチ**を、山東サッカー部の外部コーチとして正式にお迎えすることになりました。

佐藤コーチは、モンテジュニアユース庄内からモンテユース、そしてトップ昇格して、

⁸ 山形一中サッカー部で、ヒロト父と同期でした。

モンテのフロ選手として活躍された方です。プロ引退後、高橋コーチと同業となり、その縁あって、山形東サッカー部の練習に顔を出して下さるようになりました。お時間があるときだけで結構ですので、ぜひいらっしゃり、プレーで、アドバイスで、選手を導いて下さることとなりました。佐藤コーチ、弱小のチームではありますが、宜しくお願い致します。

佐藤コーチのコメント。

「微力ながらお手伝いできればと思います！」

ん～謙虚！

経歴からすれば、もっと能力の発揮する場があるのかと思いますが、少なくとも今年は他に離しませんよ～。

さて、いよいよリーグ戦が開幕します。8月後半から、当初の予定のリーグ戦日程を消化する。ただし、山東は訳あって9月20日酒田南戦での酒田遠征はキャンセルさせていただきました（今年のリーグ戦は昇格降格なし、日程もすべて消化する必要なし）。とすると、8月30日の鶴岡工業戦と、9月22日の鶴岡南戦だけとなります。10月第1週に予定されていた進学校大会は、選手権日程の関係で、現在開催できるか微妙な状況です（8月24日の理事会で決定されます）。またご連絡いたします。ともかく、下記の試合、応援よろしくお願い致します。

県リーグ戦 Y2A 第12節⁹ 鶴岡工業戦 12:00 キックオフ @山形明正 G

⁹ とはいえ、実際は今年のリーグ戦初戦です。